



▲同郷の友と登米市の発展を願って万歳三唱をする会員の皆さん

## ふるさと米山を思い語り合う

第29回東京米山会総会ならびに懇親パーティー

第29回東京米山会総会ならびに懇親パーティーが3月18日、東京都江東区亀戸アンフェリションで開催されました。総会には会員95人が参加したほか、市からは米山町域の市議会議員、米山総合支所長、登米みなみ商工会理事、ふるさとセンターY・Y理事長が出席しました。総会開始前に東日本大震災で亡くなった方々へ黙祷が行われ、義援金を頂きました。総会終了後の懇親パーティーは、懐かしいふるさとを思いながら、昔話や近況などを語り合い、終始和やかな雰囲気で行われました。

## 交通安全の願いを込めて

石越で交通安全啓発看板除幕式

飲酒運転を根絶し、悲惨な交通事故を無くすことを目的に、東郷口梨地内の県道沿いに交通安全啓発看板が設置されました。春の交通安全運動に合わせて4月11日に行われた除幕式には、石越地区の交通安全3団体から約30人が出席しました。佐沼地区交通安全協会石越支部の高橋支部長をはじめ各役員が除幕した後、出席者は看板の前で街頭キャンペーン（無事帰る運動）を実施し、事故のない町を願い作成したマスコット「無事かえるくん」を配り、ドライバーに対し安全運転を呼び掛けました。



▲飲酒運転根絶を訴える真新しい看板を除幕する各役員

## 交通安全街頭指導「着ぐるみ作戦」

### 交通事故ゼロへ向けて

春の交通安全運動初日の4月6日、JAみやぎ登米豊里支店前で交通安全運動出発式が行われ、登米地区交通安全協会豊里支部や交通安全母の会など関係者約67人が参加しました。出発式では「交通事故のない安全・安心なまちづくりを目指します」と宣言し、号令の後各自が街頭指導に出発しました。街頭指導では「安全運転をお願いします」と呼び掛けながら交通安全チラシ・ポケットティッシュ、母の会手作りの折り鶴短冊を信号待ちのドライバーに配布しました。



▲街頭に立ち、「着ぐるみ作戦」で安全運転を呼び掛けました



▲参加した選手は一打一打に集中し、熱戦が繰り広げられました

## ホールインワンをねらって

津山地区で高齢者グラウンドゴルフ大会

津山運動広場において4月13日、「平成24年度津山地区高齢者グラウンドゴルフ大会」が開催されました。この大会は、高齢者のスポーツ振興や健康増進、生涯スポーツの普及を目的に毎年春に開催されています。大会には、津山町グラウンドゴルフ協会の会員や津山地区住民のほか、仮設住宅の入居者にも声掛けをし、50人の選手が参加しました。競技は8コース2ラウンドの個人戦で行われ、ボールを打つ度に「行け！」「入れ！」など、活気のある声が広場に響き渡りました。



▲聖闘士たちの等身大パネルは、近くで見ると迫力があります

## 聖闘士たちが登米市に集結

第40回特別企画展「<sup>セイントセイヤオメガ</sup>聖闘士星矢Ω展」開催中

石ノ森章太郎ふるさと記念館では、7月8日まで第40回特別企画展「聖闘士星矢Ω展」が開催されています。この展示会は、東日本大震災から復興する街の姿を見てほしいという石ノ森章太郎ふるさと記念館側の願いに番組が応える形で実現し、全国初の展示会となります。展示室には、初公開となるシナリオや絵コンテ展示のほか、聖闘士星矢Ωの世界が体感できる聖闘士星座トンネルや等身大カットアウト、ゲームツールなどもあり、たくさんの家族連れでにぎわっていました。

## 死亡事故ゼロ4500日を達成

市交通安全対策協議会から褒状を贈呈

米谷地域づくり推進協議会が交通死亡事故ゼロ4,500日を達成し、4月10日、東和総合支所において市交通安全対策協議会から褒状が贈られました。これは平成11年12月13日以降、地域で交通死亡事故が発生しておらず、地域の交通安全活動に尽力した功績がたたえられたものです。米谷地域づくり推進協議会の及川昭宏会長は「三陸自動車道東和ICが開通し、交通量が増加した中での交通死亡事故ゼロ4,500日達成は、地域ぐるみで交通安全に取り組んだ成果であり、今後も交通安全に努めていきたい」と話していました。



▲布施市長(右)から褒状を受ける米谷地域づくり推進協議会の及川会長